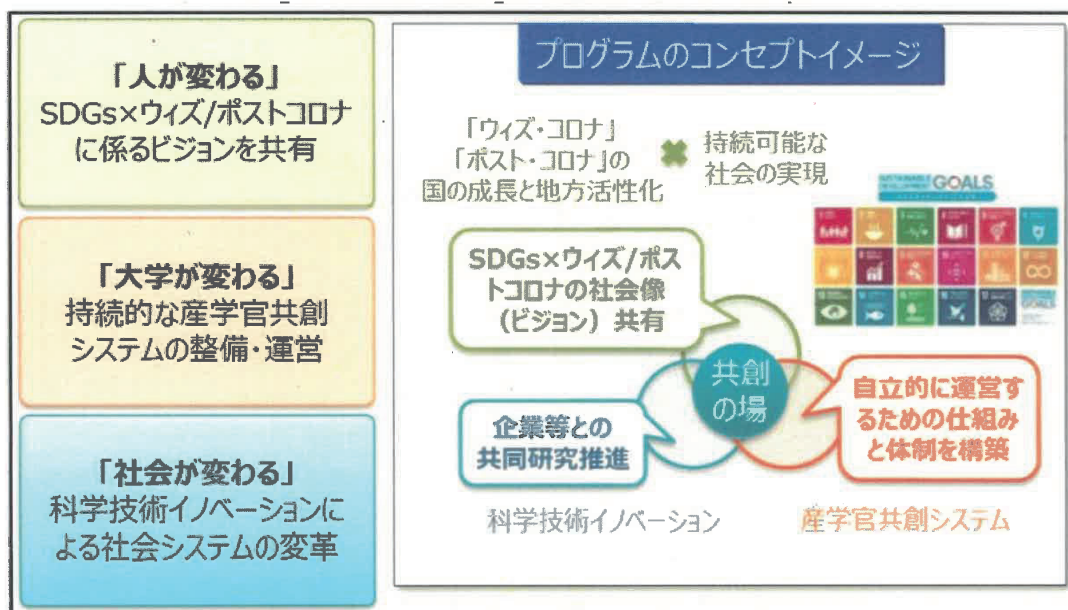


共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)地域共創分野

【拠点名：フード・トランスフォーメーションが結ぶ環境・観光アイランド実現拠点】
 【ビジョン:食品・畜産・農業の高度連携によって資源を循環させ持続可能な環境・観光の島を創る】



	共創分野	<u>地域共創分野</u>	政策重点分野 (量子技術分野)
委託費 (間接経費 含む)	育成型：2.5 千万円/年度 本格型：最大 3.2 億円/ 年度	<u>育成型：2.5 千万円/年度</u> 本格型：最大 2 億円/年度	本格型：最大 4 億円/年度
実施期間	育成型：2 年度 本格型：最長 10 年度	<u>育成型：2 年度</u> 本格型：最長 10 年度	本格型：最長 10 年度
令和 4 年度の 採択予定件数	育成型：4 件程度 本格型：5 件程度	育成型：6 件程度 本格型：6 件程度	本格型：1 件程度

令和 4 年度応募数および採択数

	共創分野		地域共創分野		政策重点分野 (量子技術分野)
	本格型	育成型	本格型	育成型	本格型
提案件数	15	19	18	47	2
採択件数	5	4	3	8	1

拠点名称：フード・トランスフォーメーションが結ぶ環境・観光アイランド実現拠点

代表機関	琉球大学	プロジェクトリーダー	平良 東紀 琉球大学 農学部 教授
幹事自治体	うるま市, 沖縄市	幹事機関	(企業等) 合資会社オキスイ, 株式会社バイオジェット
参画機関	(大学等) 沖縄県農林水産部畜産研究センター (企業等) 沖縄ガス株式会社, オリオンビール株式会社, 共和化工株式会社, 株式会社日本フードエコロジーセンター		

プロジェクトの概要

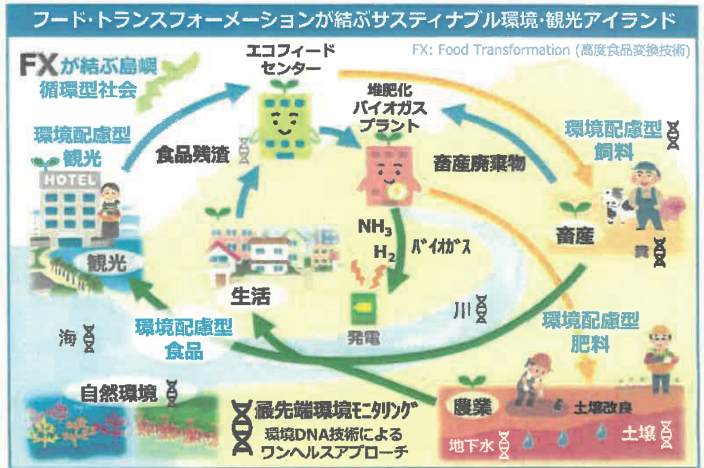
【ビジョン：食品・畜産・農業の高度連携によって資源を循環させ持続可能な環境・観光の島を創る】

農業の化学肥料と畜産の穀物飼料はほとんど輸入しており、食品も県外・国外から仕入れている。化学肥料や外国産穀物飼料の使用、食品の廃棄は環境負荷が極めて高く、販売価格・供給量が海外情勢に著しく左右されるため、適正利用と自給率の向上が必要である。加えて「島嶼圏」沖縄は狭い土地に自然・農地・生活圏・リゾート地が近接し、資源の浪費による経済的損失と廃棄物による環境汚染が深刻な問題となっている。環境に配慮した高効率な資源循環は、県民の生活と自然環境を守り、観光立県沖縄の持続可能な発展に不可欠である。本プロジェクトでは、地域住民・自治体・企業・大学が食品・畜産・農業・観光の高度連携によってエネルギーを含めた資源循環を実現することで、持続可能な環境・観光立県を共創することをビジョンとした。

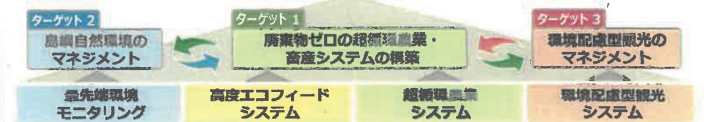
【ターゲット① 廃棄物ゼロの超循環農業・畜産システムの構築】IoT/AIを活用した高度エコフィードシステムで食品残渣の飼料化を行い、環境配慮と高度な栄養管理、病原体管理を両立する畜産を展開する。さらに飼料化に適さない食品残渣は畜産廃棄物と共に堆肥化・エネルギー化する超循環農業システムを構築する。

【ターゲット② 島嶼自然環境のマネジメント】環境DNA技術を用いた最先端のモニタリング技術により、ワンヘルスアプローチ（人・動物・環境の健康・健全性に関する課題を網羅的に検討）に基づき、ターゲット①のシステムを評価し、フィードバックすることによって環境マネジメントを行う。

【ターゲット③ 環境配慮型観光のマネジメント】①で生産される農・畜産物に「環境配慮型（＝資源循環型）」という付加価値を与え、これらを使った料理を観光地・ホテルで提供し、加工品の製造・販売も行うなど地域で経済が回る「持続可能な農・畜産物経営」を構築する。ホテルでの食品リサイクルループの構築も行う。

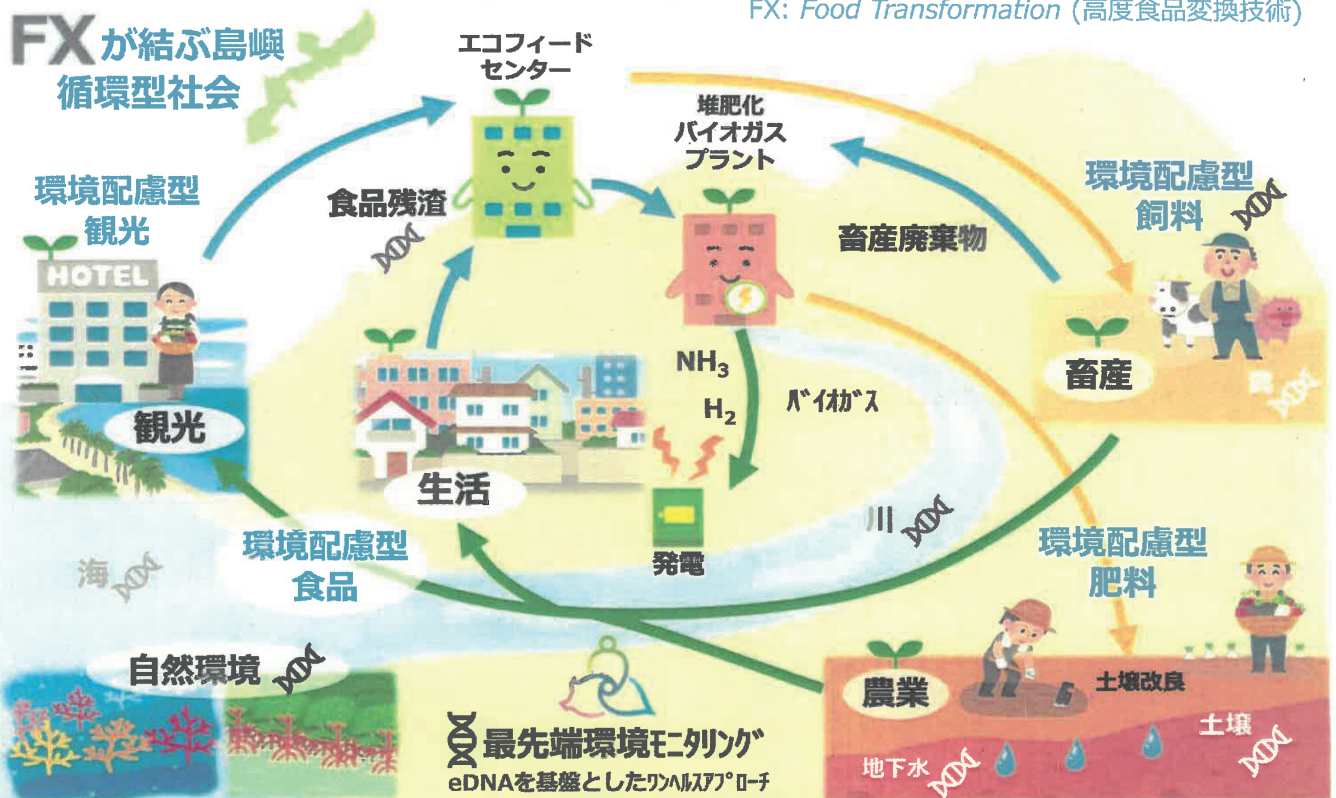


ビジョン：食品・畜産・農業の高度連携によって資源を循環させ持続可能な環境・観光の島を創る。



フード・トランスフォーメーションが生み出すサステイナブル環境・観光アイランドの未来像

FX: Food Transformation (高度食品変換技術)



食品・畜産・農業の高度連携によって資源を循環させ持続可能な環境・観光の島を創る。

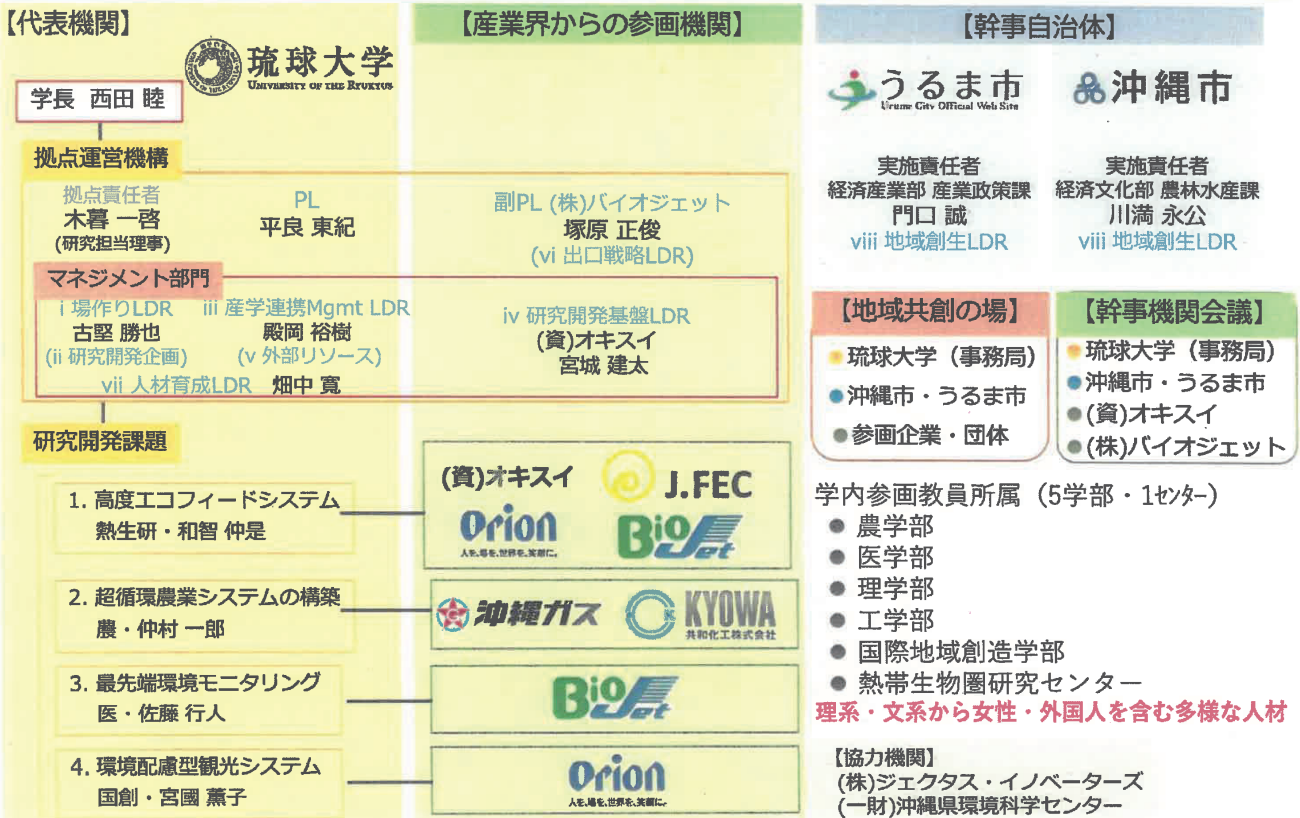
Vision

食品・畜産・農業の高度連携によって資源を循環させ持続可能な環境・観光の島を創る。



組織運営図

フード・トランスフォーメーションが結ぶ環境・観光アイランド実現拠点



お知らせ

JST 共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT) 地域共創分野に本学と沖縄市・うるま市を中心とする提案が採択

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) による「共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT) 地域共創分野」の令和 4 年度育成型に、琉球大学、沖縄市、うるま市、沖縄県畜産研究センター、合資会社オキスイ、株式会社バイオジェット、沖縄ガス株式会社、オリオンビール株式会社、共和化工株式会社、株式会社日本フードエコロジーセンターの連携体による「フード・トランスフォーメーションが結ぶ環境・観光アイランド実現拠点」が採択されました*1。

地域住民、自治体、企業・大学・公設試が食品・畜産・農業・観光の高度連携によって資源やエネルギーを循環させ、持続可能な環境・観光立県を実現するための取組がスタートします。

*1 プレスリリース資料「COI-NEXT 令和 4 年度新規採択プロジェクトについて」

<https://www.jst.go.jp/pr/info/info1584/pdf/info1584.pdf>

1. 「共創の場形成支援プログラム」について

大学等が中心となって未来のありたい社会像を策定し、その実現に向けた研究開発を推進するとともに、プロジェクト終了後も持続的に成果を創出する自立した産学官共創拠点の形成を目指す産学連携プログラムです*2。「共創分野」「地域共創分野」の 2 つのタイプがあり、今回採択された「地域共創分野」は地域大学等を中心とし、地方自治体、企業等とのパートナーシップによる地域の課題解決や地域経済の発展を目的とした自立的・持続的な地域産学官共創拠点の形成を目的とした事業*3 になります。

*2 JST 共創の場形成支援プログラム 概要

<https://www.jst.go.jp/pf/platform/outline.html>

*3 JST 共創の場形成支援プログラム 公募概要

<https://www.jst.go.jp/pf/platform/koubo.html>

2. プロジェクトについて

拠点名称：フード・トランスフォーメーションが結ぶ環境・観光アイランド実現拠点

プロジェクトリーダー：平良 東紀（農学部 教授）

副プロジェクトリーダー：塚原 正俊（株式会社バイオジェット 代表取締役）

拠点の全体管理を担う組織の代表：木暮 一啓（理事・副学長、研究推進機構長）

参画機関：琉球大学（代表機関）、沖縄市・うるま市（幹事自治体）、合資会社オキスイ・株式会社バイオジェット（幹事機関）、沖縄県畜産研究センター・沖縄ガス株式会社・オリオンビール株式会社・共和化工株式会社・株式会社日本フードエコロジーセンター（参画機関）

実施期間：2022年度～2023年度

地域拠点ビジョン

食品・畜産・農業の高度連携によって資源を循環させ持続可能な環境・観光の島を創る

地域拠点の概要

多量のエネルギーと水を浪費する化学肥料や外国産穀物飼料の使用、食品廃棄は環境負荷が極めて高く、販売価格や供給量が海外情勢に著しく左右されるため、自給率の向上が求められています。加えて「島嶼圏」沖縄は狭い土地に自然・農地・生活圏・リゾート地が近接し、資源の浪費による経済的損失と廃棄物による環境汚染が深刻な問題となってきました。環境に配慮した高効率な資源循環は、県民の生活と自然環境を守り、観光立県沖縄の持続可能な発展に不可欠です。本プロジェクトでは、地域住民・自治体・企業・大学が食品・畜産・農業の高度連携によって資源循環を実現することで、持続可能な環境・観光立県を共創することをビジョンとしました。

SDG 12. つくる責任 つかう責任

地域拠点の幹事自治体について

沖縄市は、「世界にひらき活力あふれる国際文化観光都市」を将来像とし、2021年から2025年を計画期間とする第5次沖縄市総合計画前期基本計画を策定しています。総合計画では、5つの将来像を実現する基本方向として「環境と共生する力強い農林水産業を展開する」、「環境と共生する社会を築く」ことが掲げられており、本提案の将来ビジョン「食品リサイクルによって繋がる豊かな地域社会」は、沖縄市の掲げるこれらの基本方向と合致しています。

うるま市は、2020年3月に今後5年間を計画期間とする「第2次うるま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。4つの基本目標を軸にした施策体系の中で「農水産業の活性化と高度化」「観光関連産業の活性化」を実現しつつ「利便性と快適性向上の生活基盤の整備」を進めるとしており、県内畜産業の中心であると同時に排水や廃棄物の適正処理を優先課題としている同市の方針と本提案の将来ビジョンは価値観を共有しています。

フード・トランスフォーメーション社会実現拠点形成の初期段階においては、主に沖縄市・うるま市を中心としたエリア（下図参照）のステークホルダーにターゲットを絞り、地域に密着したコンパクトな拠点モデルを構築します。



問い合わせ先：

総合企画戦略部研究推進課

宜志富 知恵子 chieko-g@cs.u-ryukyu.ac.jp